

8番の歌 エホバは避難所

エホバは私たちの岩

「私たちの神のような岩はありません」。[サムエル第一 2:2](#)

エホバのように聖なる方はいません。あなたのほかにはいないのです。私たちの神のような岩はありません。

ポイント：エホバが岩と呼ばれているのはなぜか、どうすれば岩のような方エホバに倣えるかを考えます。

1. [詩編 18 編 46 節](#)で、ダビデはエホバを何に例えましたか。

今の世の中では予期しない問題が次々と起きます。そのために、いろいろ影響を受けることもあります。時には生活が一変することもあります。そのような時に助けを求めてエホバに頼れるのは本当にうれしいことです。前の記事では、エホバが生きている神で、私たちをいつでも助けたいと思っていることを学びました。実際にエホバに助けてもらうと、「エホバは生きている」と改めて実感します。ダビデもそう言いました。（[詩編 18:46](#) エホバは生きている。私の岩が賛美されますように。私の救いの神がたたえられますようにを読む。）でもその直後に、エホバのことを「私の岩」と呼びました。生きている神エホバを命のない岩に例えたのはどうしてでしょうか。

2. この記事ではどんなことを学びますか。

2 この記事では①エホバが岩と呼ばれているのはなぜか、また②その表現から何を学べるかを考えます。そして、③どうすればエホバを自分の岩と考えて頼れるようになるかを学びます。さらに、④岩のような方であるエホバにどうすれば倣えるかを考えます。

エホバが岩と呼ばれている理由

3. 聖書で「岩」という語はどのように使われることがありますか。（挿絵を参照。）

3 聖書で使われている「岩」という表現から、エホバがどんな方であるかを知ることができます。この表現は、誰とも比べることができないほど素晴らしい方であるエホバを賛美する文脈でよく使われています。エホバに関して岩という表現が最初に使われているのは、[申命記 32 章 4 節](#) 神は岩のような方で、行うことは完全、神の道は全て公正である。決して不公正ではなく、信頼できる神。正しく、真っすぐな方です。また、[ハンナ](#)は祈りの中で、「私たちの神のような岩はありません」と言いました。（[サムー 2:2](#) エホバのように聖なる方はいません。あなたのほかにはいないのです。私たちの神のような岩はありません）[ハバクク](#)はエホバを「私の岩」と呼びました。（[ハバ 1:12](#) エホバ、あなたは永遠の昔からおられます。私の神、私の聖なる方、あなたは死ぬことがありません(if*私たちは死にません)。エホバ、あなたが刑の執行のために彼らを任命しました。私の岩、あなたが処罰(*戒め)のために彼らを立てたのです）[詩編 73 編](#) の作者は「私の心の岩」と言っています。（[詩 73:26](#) 私の体と心が衰えようとも、神は私の心の岩、永遠

に私の全て(*私に与えられた分)) エホバご自身も自分のことを岩と表現しています。 (イザ 44:8 あなたたちは恐れてはならない。 恐怖で身がすくむないようにしなさい。 私は前もって一人一人にはっきり告げたではないか。 あなたたちは私の証人である。 私のほかに神がいるだろうか。 いや、 ほかに岩のような者はいない。 私は全く知らない) エホバが岩のような方であるといえる3つの点を考え、 どうすれば「私たちの岩」であるエホバに頼ることができるかを学びましょう。 (申 32:31 (敵たちの岩は私たちの岩のようではない。 敵でもこれは分かっている。))



エホバに仕える人たちはエホバを岩のような存在と見ているので安心できる。 (3節を参照。)

4. エホバはどんな意味で避難所といえますか。 (詩編 94:22)

4 エホバは避難所。 ひどい嵐の時、 大きな岩があれば、 その陰に隠れることができます。 同じように、 大変な経験をする時、 エホバは私たちを守ってくださいます。 (詩編 94:22 しかし、 エホバが私の安全な避難所(*高台)。 私の神は私の岩、 避難できる場所を読む。) ご自分との絆を保てるよう助けてくれますし、 私たちが今経験しているつらい問題がずっと続くようにはしません。 さらに、 私たちの平和や安全を脅かすものを全てなくすと約束しています。 (エゼ 34:25, 26 私は彼らと平和の契約を結び、 どう猛な野獣をその土地から除き去る。 彼らは荒野で安全に住み、 森林で眠るようになる。 26 私は彼らと、 私の丘の周囲を祝福し(if*祝福の経路とし)、 良い時に雨を降らせる。 祝福が雨のように降り注ぐ)

5. 岩のような方であるエホバのもとにどのように逃げ込むことができますか。

5 岩のような方であるエホバのもとに逃げ込む1つの方法は、 祈ることです。 祈ると、 エホバは私たちに「神からの平和」を与え、 心と考えを守ってくださいます。 (フィリ 4:6, 7 何も心配せず、 いつでも祈り、 祈願を捧げ、 感謝しつつ、 頑い(*請願)を神に知っていただくようにしましょう。 7 そうすれば、 神からの平和が、 キリスト・イエスを通して皆さん的心と考え(*知力)を守ります。 その平和は人間の理解をはるかに超えています) 信仰のために投獄されたアルチョーム兄弟の例を考えてみましょう。 兄弟は捜査官から何度も尋問を受け、 圧力をかけられ、 自尊心を傷つけられました。 兄弟はこう言っています。「捜査官から尋問される時はいつもストレスを感じていました。 その度に、 私は穏やかな心と知恵を求めてエホバに祈りました。おかげで、 捜査官のさまざまな圧力に屈することなく、 エホバへの信仰を保つことができました。 エホバの助けがあつたので、 まるで大きな石の後ろに立っているかのように感じました」。

6. エホバをいつでも信頼できるのはどうしてですか。 (イザヤ 26:3, 4)

6 エホバは信頼できる方。エホバは決して動かない岩のように、いつでも私たちのそばにいて助けてくれます。エホバは「永遠の岩」です。 (イザヤ 26:3, 4) あなたに全く頼る(if*考えが揺れ動かない)人たちを、あなたは守り、絶え間ない平和を与えます。彼らがあなたを信頼するからです。4いつまでもエホバに頼れ。ヤハ(*), エホバは、永遠の岩だからだを読む。) ずっと存在していて、約束を守り、祈りを聞き、必要な助けを与えてくれます。また、エホバはご自分に仕える人に揺るぎない愛を示す方です。(サム二 22:26)あなたは、揺るぎない愛を示す人に、揺るぎない愛を示す。誠実な人に誠実である(*非難されるところがない人には、非難されるところがない行いをする)) 私たちが行ったことを覚えていて、必ず報いてくださいます。エホバは確かに信頼できる方です (ヘブ 6:10)皆さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え、今も仕え続けています。そのようにして、神の名を愛していることを示してきました。神は不公正な方ではないので、そうした働きや愛を忘れたりはされません; 11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく人は、神が存在し、熱心に仕えようと努める人たちに報いてくださる、ということを信じなければなりません

7. エホバを信頼するならどんな経験ができますか。 (写真も参照。)

7 エホバを自分にとって岩のような存在と見るなら、エホバを心から信頼することができます。大変な状況の中でもエホバに従うなら必ず良い結果になると信じることができます。 (イザ 48:17, 18) あなたを救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば! そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる) エホバの助けを経験するたびに、エホバへの確信は深まっていきます。そして、これからどんな試練を経験するとしても、エホバなら必ず私たちを助けることができる、と思うようになるでしょう。特に、誰からも助けを受けられない状況になると、エホバがどれほど信頼できる方がを実感します。ウラジーミル兄弟はこう言っています。「拘置所にいた時間は、神との絆を強める上で最高の時間[でした]。拘置所ではずっと1人でしたし、状況をコントロールすることは全くできなかったので、エホバを一層信頼することを学べました」。



エホバを自分にとって岩のような存在と見るなら、エホバを心から信頼することができます。 (7節を参照。)

8. (ア) エホバは安定していて変わらないといえるのはどうしてですか。 (イ) 岩のような方であるエホバに頼る必要があるのはどうしてですか。 (詩編 62:6, 7)

8 エホバは安定していて変わらない。エホバは大きな岩のようにしっかりと安定していて、変わらない方です。気まぐれな性格ではなく、決めたことを必ず実現させます。（マラ 3:6 「私はエホバであり、私は変わらない（*変わっていない）。あなたたちはヤコブの子であり、あなたたちはまだ終わっていない）エデンで反逆が起きた時も動じることはありませんでした。使徒パウロも、エホバは「ご自分を否定することができない」と書いています。（テモニ 2:13）たとえ私たちが不忠実でも、その方は常に信頼できます。ご自分を否定することができないからです）つまり、どんなことがあっても、誰が何をしようとも、エホバは振り回されたりせず、ご自分の考え方や基準を変えることもないということです。それで私たちは、動搖させられるような状況でもエホバが助けてくださることや、将来の約束を必ず果たしてくださることを確信して頼ることができます。（詩編 62:6, 7 神は私の岩、救い、安全な避難所。私が動搖することはない。7 私の救いと栄光は神から来る。神は私の強固な岩、避難所を読む。）

9. タチアナ姉妹の例からどんなことを学べますか。

9 エホバを自分の岩と見て頼る人は、エホバがどんな方かや地球や人間についてどんなことを考えているかに注意を向けています。そうすることは、試練を忍耐する間も落ち着いた気持ちでいるのに役立ちます。（詩 16:8 私はエホバを絶えず自分の前に置く。神が右にいてくださるので、決して動搖する（*よろける）ことはない）信仰を理由に自宅拘禁されていたタチアナ姉妹の例を考えてみましょう。「私は文字通り独りぼっちでした。……初めの頃は大変で、何度も気落ちしました」と言っています。でも姉妹は、自分が経験している試練がエホバやエホバの考え方とどう関係しているのかを思い巡らすようにした時、落ちつきを取り戻し、信仰を貫く力が湧いてくるを感じました。こう続けています。「こうしたことが起きている理由を考えるように心掛けました。そうすると、自分はエホバを愛していて、エホバに喜ばれるために頑張っているんだ、ということを思い起こすことができました。このことは、自分のことばかり考えない助けになっています」。

10. エホバを自分の岩と感じるために、今どんなことができますか。

10 間もなく、これまで以上にエホバに頼らなければ乗り越えられない試練を経験することになるでしょう。こうした試練を忍耐し、信仰を持ち続けられるようエホバは必ず助けてくれます。その確信を今強めておくことは大切です。そのために何ができますか。聖書を読んだり、現代のエホバの証人が経験したことについて調べたりすることができます。そして、岩のような方であるエホバがご自分に仕える人たちをどのように支えたかに注目し、そのことをじっくり考えましょう。そうすることは、エホバを自分の岩と感じる助けになります。

岩のような方であるエホバに倣う

11. 私たちが岩のような方であるエホバに倣うことが大切なのはどうしてですか。（「若い兄弟たちはどんな点で努力できますか」の囲みも参照。）

11 ここまで、エホバがどういう意味で岩のような方であるかを学びました。次に、私たちがどのようにエホバに倣えるかを考えます。その点で努力するなら、私たちも仲間の兄弟姉妹を力づけることができます。シモンのことを考えてみましょう。シモンはイエスからケファ（「ペテロ

」と訳される) と呼ばれました。これは「小岩」という意味です。 (ヨハ 1:42 そしてシモンをイエスの所に連れていった。イエスは彼を見て、言った。「ヨハネの子シモン、あなたはケファ (「ペテロ」と訳される) と呼ばれます」) イエスは、シモンが会衆を慰め、安定させる存在になると言っていました。聖書では、会衆の長老たちが兄弟姉妹を保護する「大岩の陰」に例えられています。 (イザ 32:2 彼らはおのおの、風から逃れるための場所、暴風雨から避難するための場所、水のない土地に流れる水、乾き切った土地にある大岩の陰のようになる) でも長老だけでなく、私たち一人一人が岩のような方エホバに倣うなら、会衆は力づけられます。 (エフェ 5:1 皆さんは子供として神に愛されているのですから、神に倣ってください)



若い兄弟たちはどんな点で努力できますか

若い時にエホバについて学び、岩のような方エホバに倣おうとするのはとても良いことです。そうするなら、20代前半か中ごろまでに、長老として奉仕するのにふさわしい人へと成長できるかもしれません。

- 避難所のような存在になる。集会で兄弟姉妹と会話し、みんなが歓迎されていると感じられるようにしましょう。年長の人たちのことを気遣ってください。
- 信頼される人になる。王国会館に集まる時、仲間の助けになることを進んで行いましょう。割り当てや仕事を任せられたなら、指示にしっかりと従ってください。
- 安定した人になる。聖書を毎日読み、じっくり考えましょう。どうすれば聖書の教えに基づいて決定できるかを学んでください。

12. どうすれば仲間にとて避難所のような存在になれますか。

12 避難所のような存在になる。災害や政情不安や戦争を経験している兄弟姉妹のために、実際に避難する場所を提供できる場合もあります。「終わりの時代」が進んでいくにつれて、互いに助け合う機会は増えていくことでしょう。 (テモ二 3:1 このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります) また、仲間を慰めたり、愛していることを伝えたりすることも大切です。例えば、王国会館に来る仲間を歓迎し、優しい言葉を掛けるなら、会衆の温かい雰囲気に貢献で

きます。私たちは厳しくて冷たい世の中で生活しているので、いろいろなストレスを感じています。それで、集会に集まる兄弟姉妹が愛されていると感じ、爽やかにされ、安心感を持てるようできる限りのことをしてみたいと思います。

13. 特に長老たちは、どうすれば兄弟姉妹にとって避難所のような存在になれますか。（写真も参照。）

13 長老たちは会衆の兄弟姉妹が大変な経験をしている時、避難所のような存在になれます。自然災害や医療上の緊急事態が起きた時、実際的なサポートをするためにすぐに動きます。また、聖書から導きや励ましとなる言葉を伝えます。長老が優しく気持ちに寄り添って話を聞くなら、兄弟姉妹にとって話しやすい人になれるでしょう。そうするなら、兄弟姉妹は大切にされていると感じ、聖書に基づいて与えられるアドバイスを実践しようという気持ちになるでしょう。（[テサ一 2:7, 8](#) 乳児を優しく世話する(*大切にする)母親のように、穏やかに皆さんに接しました。8 私たちは優しい愛情を抱き、皆さんに神の良い知らせを伝えるだけでなく自分たち自身を与えたいたと思いました。皆さんを深く愛するようになったからです、[11](#) よくご存じのように、私たちは皆さん一人一人を励まし、慰め、教えました。父親が子供にするようにです）



会衆の兄弟姉妹が大変な経験をしている時、長老たちは避難所のような存在になれる。（13節を参照。）

*写真や挿絵: 王国会館で姉妹が2人の長老にためらわずに近づいている。

14. どうすれば信頼される人になれますか。

14 信頼される人になる。私たちは大変な経験をしている兄弟姉妹にとって頼れる存在になりたいと思います。（[格 17:17](#) 真の友はどんな時にも愛を示す。苦難の時に頼れる兄弟である）どうすれば信頼される人になれるでしょうか。約束したことをきちんと行ったり、時間を守るようにしたりして、エホバに倣う努力を続けることができます。（[マタ 5:37](#) ただ、『はい』は、はいを、『いいえ』は、いいえを意味するようにしなさい。それ以上のことは邪悪な者(if*邪悪なこと)から出るのです）助けを必要としている人に気付いたら進んで行動しましょう。会衆の割り当てを果たす時には指示に従います。

15. 会衆に信頼できる長老がいると安心できるのはどうしてですか。

15 信頼できる長老が会衆にいてくれると、とても心強いものです。助けが必要な時にはいつでも、野外奉仕グループの監督など、長老たちに連絡できることを知っていると安心できます。また、長老たちが喜んで助けになりたいと思っていることが分かっていると、兄弟姉妹は大切にされ

ていると感じます。長老たちの助言が自分独自の考えではなく、聖書や忠実な奴隸が準備した出版物に基づいているなら、長老たちへの信頼は深まります。また、長老たちが言ったことをきちんと果たし、人のプライベートなことをほかの人に漏らさないようにするなら、長老たちをいつそう信頼することができるでしょう。

16. 安定した人になるなら、自分とほかの人にとってどんな良いことがありますか。

16 安定した人になる。私たちがいつもエホバに従い、聖書に基づいて決定するなら、ほかの人には良い影響を与えることができます。神の言葉を学んで、エホバへの信仰を強めていくなら、エホバの基準を守って忠実に仕え続けることができます。優柔不断になつたり不安定になつたりすることも、この世の中の間違った教えや考え方振り回されることもありません。（エフェ 4:14）ですから、私たちはもう子供であつてはならず、波にもまれるかのように翻弄されたり、風に吹かれるかのようにさまざまな教えに振り回されたりしてはなりません。人に欺かれたり、する賢いたくらみに乗せられたりしてはならないのです。ヤコ 1:6-8ただし、少しも疑わず、信仰を持って求め続けなければなりません。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く海の波のようです。7そういう人は、エホバ(*)から何かを頂けると思ってはなりません。8その人は優柔不斷で、何をするにも不安定です）エホバとエホバの約束を信じているので、悪いことが起きたり良くない知らせを聞いたりしても落ち着いていることができます。（詩 112:7, 8 悪い知らせを恐れない。搖るぎない心でエホバに頼る。8心は揺れ動かず(*ひるまず/ぐらつかず)、恐れない。最後には敵対者の敗北を見る）試練に遭っている仲間を支えることもできます。（テサ一 3:2, 3 テモテを遣わしました。テモテは私たちの兄弟であり、キリストについての良い知らせを伝える、神の奉仕者(if*神と共に働く者)です。彼を遣わしたのは、皆さんの信仰が強くなるよう、皆さんを力づけ、慰めるためです。3誰にもこのような苦難によって動揺してほしくないからです。皆さんもよく分かっているように、私たちは苦しい目に遭うことは避けられません(*遭うように定められています)）

17. 仲間が強い信仰を持ち、安定できるように、長老たちはどのように助けることができますか。

17 長老たちは節度をわきまえ、健全な考え方をし、秩序正しく行動し、分別がある人になる必要があります。「神の信頼できる言葉にしつかり従[う]」ことによって会衆を力づけ、仲間を安定させます。（テト 1:9 神の信頼できる(*確かな)言葉にしつかり従った教え方をしなければ(*従って教える技術を用いなければ)なりません。そうすれば、健全な(*有益な)教えによって励ます(*説き勧める)ことも、逆らう人を戒めることもできるでしょう。テモ一 3:1-3 次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。2ですから、監督は、とがめられるところがなく、1人の妻の夫で、節度をわきまえ、健全な考え方(*良い判断)をし、秩序正しく行動し、人をよくもてなし、教える資格がなければなりません。3また、酩酊せず、暴力を振るわず、分別があり、争いを好まず、お金を愛さず、）良い手本を示し、よく気遣うことによって、兄弟姉妹が集会や伝道に定期的に参加し、個人研究の習慣を守るように助けます。仲間が問題に直面して不安になっている時には、エホバに頼ってエホバの約束に目を向けるように励ますことができます。

18. これからもエホバとの絆を強め、エホバを賛美していきたいと思うはどうしてですか。（「エホバとの絆をもっと強める」の囲みも参照。）

18 この記事でエホバの素晴らしい性質について考えることができました。「私の岩エホバが賛美されますように」と言ったダビデと同じ気持ちになったのではないでしょうか。（[詩 144:1 私の岩](#)
エホバが賛美されますように。神は私の手を戦いのために、私の指を戦闘のために鍛えてくださいます）エホバ
が信頼を裏切ることは決してありません。これまでそうしてくださったように、これからもずっと、
エホバとの絆を持ち続けられるように助けてくださいます。それで、確信を込めて「神は私の岩」と言えるのです。（[詩 92:14, 15](#) 年を取っても(*白髪になっても)衰えない。元気ではつらつとし、
エホバが正しい方であることを知らせる。神は私の岩、神に不正はない）

エホバとの絆をもっと強める

個人研究のプロジェクトで、次のようなエホバの称号について調べてみましょう。

- 教師（[ヨブ 36:22](#) 神のような教師がいるでしょうか。[イザ 30:20](#) エホバはあなたたちに苦難というパンを食べさせ、圧迫という水を飲ませる。とはいえ、あなたの偉大な教師はもはや姿を隠さず、あなたは自分の目で偉大な教師を見る）
- 全能の神（[創 17:1](#) アブラムが99歳の時、エホバはアブラムに現れて、こう言った。「私は全能の神である。私の道を歩み、非の打ちどころがない人になりなさい）
- 創造者（[伝 12:1](#) それで、若いうちにあなたの偉大な創造者を覚え(*意識しなさい。やがて、苦難の日々を迎える、「何も楽しくない」とあなたが言う年月が来るからだ）
- 父（[イザ 64:8](#) しかし、エホバ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土で、あなたは陶芸家(*私たちを形作った方)です。私たちは皆、あなたの手で造られたのです）
- 年月を経た方（[ダニ 7:9](#) さらに見ていると、王座が据えられ、年月を経た方が座った。その方の衣服は雪のように白く、髪の毛は真っ白な羊毛のようだった。王座は炎であり、その車輪は燃える火…）
- 牧者（[詩 23:1](#) エホバは私の牧者。私は何も不足しない）

聖書では、ほかにもエホバについていろいろな表現や称号が使われています。それらを詳しく調べるなら、エホバについてもっとることができます。自分の言語で使えるリサーチツールを活用して、次のことをやってみましょう。

- 背景や文脈を調べる。**誰の言葉ですか。どんな状況でしたか。この表現が使われているのはどうしてだと思いますか。
- 聖句を調べる。**ほかにも同じ表現が使われている聖句がありますか。それらの聖句にはどんな共通点がありますか。
- じっくり考える。**この表現から、エホバについて何が分かりますか。それがエホバにぴったりだと思うのはどうしてですか。この表現からエホバについてどんなイメージが湧きますか。学んだことをどのように実践できますか。

どんなことを学びましたか

1. エホバが「岩」と呼ばれているのはどうしてですか。

・S03 この表現は、誰とも比べることができないほど素晴らしい方であるエホバを賛美する文脈でよく使われている。エホバに関して岩という表現が最初に使われているのは、申命記 32 章 4 節で、さらに、ハンナ、ハバクク、詩編 73 編の作者、エホバご自身も、エホバに関して岩という表現を用いている。

・S04 エホバは避難所。ひどい嵐の時、大きな岩があれば、その陰に隠れることができます。同じように、大変な経験をする時、エホバは私たちを守ってくださる。ご自分との絆を保てるよう助けて、私たちが今経験しているつらい問題がずっと続くようにはせず、さらに、私たちの平和や安全を脅かすものを全てなくすと約束してくださっている。

・S05 エホバは信頼できる方。エホバは決して動かない岩のように、いつでも私たちのそばにいて助けてくださる「永遠の岩」。ずっと存在していて、約束を守り、祈りを聞き、必要な助けを与えてくださる。ずっと存在していて、約束を守り、祈りを聞き、必要な助けを与えてくださる。また、エホバはご自分に仕える人に搖るぎない愛を示す方。私たちが行ったことを覚えていて、必ず報いてくださいます。エホバは確かに信頼できる方。

・S08 エホバは安定していて変わらない。エホバは大きな岩のようにしっかりと安定していて、変わらない方。気まぐれな性格ではなく、決めたことを必ず実現させる方。エデンで反逆が起きた時も動じることはなかった。どんなことがあっても、誰が何をしようとも、エホバは振り回されたりせず、ご自分の考え方や基準を変えることもない。それで私たちは、動搖させられるような状況でもエホバが助けてくださることや、将来の約束を必ず果たしてくださることを確信して頼ることができる。

2. エホバを自分の岩と感じるためにはどうですか。

・S10 間もなく、これまで以上にエホバに頼らなければ乗り越えられない試練を経験する。こうした試練を忍耐し、信仰を持ち続けられるようエホバは必ず助けてくださるという確信を今強めておくことは大切。そのため聖書を読んだり、現代のエホバの証人が経験したことについて調べて、岩のような方であるエホバがご自分に仕える人たちをどのように支えたかに注目し、そのことをじっくり考える。

3. どうすれば岩のような方であるエホバに倣うことができますか。

・S11 エホバに倣う点で努力するなら、私たちも仲間の兄弟姉妹を力づけることができる。会衆の長老たちが兄弟姉妹を保護する「大岩の陰」に例えられているが、長老だけでなく、私たち一人一人が岩のような方エホバに倣うなら、会衆は力づけられる。

・S12 避難所のような存在になる。災害や政情不安や戦争を経験している兄弟姉妹のために、実際に避難する場所を提供できる場合もある。「終わりの時代」が進んでいくにつれて、互いに助け合う機会は増えていく。仲間を慰めたり、愛していることを伝えたりすることも大切。例えば、王国会館に来る仲間を歓迎し、優しい言葉を掛けるなら、会衆の温かい雰囲気に貢献できる。

・S13 長老たちは会衆の兄弟姉妹が大変な経験をしている時、避難所のような存在になれる。自然災害や医療上の緊急事態が起きた時、実際的なサポートをするためにすぐに動く。また、聖書から導きや励ましとなる言葉を伝える。長老が優しく気持ちに寄り添って話を聞くなら、兄弟姉妹にとって話しやすい人になれる。

- S14 信頼される人になる。私たちは大変な経験をしている兄弟姉妹にとって頼れる存在になりたいと思う。約束したことをきちんと行ったり、時間を守るようにしたりして、エホバに倣う努力を続けられる。
- S15 助けが必要な時にはいつでも、野外奉仕グループの監督など、長老たちに連絡できることを知っていると安心できる。また、長老たちが喜んで助けになりたいと思っていることが分かっていると、兄弟姉妹は大切にされていると感じる。長老たちの助言が自分独自の考えではなく、聖書や忠実な奴隸が準備した出版物に基づいているなら、長老たちへの信頼は深まる。また、長老たちが言ったことをきちんと果たし、人のプライベートなことをほかの人に漏らさないようにするなら、長老たちをいつそう信頼できるようになる。
- S16 安定した人になる。私たちがいつもエホバに従い、聖書に基づいて決定するなら、ほかの人に良い影響を与えることができる。神の言葉を学んで、エホバへの信仰を強めていくなら、エホバの基準を守って忠実に仕え続けることができる。優柔不断になつたり不安定になつたりすることも、この世の中の間違った教えや考え方振り回されることもない。エホバとエホバの約束を信じているので、悪いことが起きたり良くない知らせを聞いたりしても落ち着いていることができ、試練に遭っている仲間を支えることもできる。
- S17 長老たちは節度をわきまえ、健全な考え方をし、秩序正しく行動し、分別がある人になる必要がある。それによって会衆を力づけ、仲間を安定させる。良い手本を示し、よく気遣うことによって、兄弟姉妹が集会や伝道に定期的に参加し、個人研究の習慣を守れるように助ける。仲間が問題に直面して不安になっている時には、エホバに頼ってエホバの約束に目を向けるように励ませる。

150 番の歌 救いのために神に頼る

^ 写真や挿絵: 王国会館で姉妹が2人の長老にためらわずに近づいている。

^ (サム一 2:2) エホバのように聖なる方はいません。あなたのほかにはいないのです。私たちの神のような岩はありません。

^ (詩 18:46) エホバは生きている。私の岩が賛美されますように。私の救いの神がたたえられますように。

^ (詩 18:46) エホバは生きている。私の岩が賛美されますように。私の救いの神がたたえられますように。

^ (申 32:4) 神は岩のような方で、行うことは完全、神の道は全て公正である。決して不公正ではなく、信頼できる神。正しく、真っすぐな方。

^ (サム一 2:2) エホバのように聖なる方はいません。あなたのほかにはいないのです。私たちの神のような岩はありません。